

⑨ 日本国特許庁 (JP)
⑩ 公開実用新案公報 (U)

⑪ 実用新案出願公開
昭57-109254

⑫ Int. Cl.³
F 02 M 7/16
19/04
19/06

識別記号
厅内整理番号
6941-3G
6941-3G
6941-3G

⑬ 公開 昭和57年(1982)7月6日
審査請求、未請求

(全 3 頁)

④ 可変ベンチュリ気化器

② 実 願 昭55-188358
③ 出 願 昭55(1980)12月25日
⑦ 考 案 者 三藤憲

⑤ 実用新案登録請求の範囲

(1) ベンチュリ部からフロート・チャンバに連通する主燃料通路にメイン・ジェットが設けられ、このメイン・ジェットの面積は移動可能なメータリング・ニードルにより制御され、メータリング・ニードルの基部は内燃機関の負荷状態に応じてベンチュリ部に対し横方向に進退するサクション・ピストンに取り付けられ、このサクション・ピストンは気化器本体に設けられたサクション・チャンバの負圧によって作動される内燃機関用可変ベンチュリ気化器であつて、同気化器は、(1)前記サクション・チャンバから絞りを介して大気と連通し、また可変絞り弁を介して前記ベンチュリ部に通ずる通路を設け、この可変絞り弁はベンチュリ部負圧により作動するダイヤフラムに取り付けられて通路面積を制御する機能を有し、(2)前記主燃料通路に連通するフロート・チャンバ出口には可変絞り弁が設けられ、この可変絞り弁はそれぞれの絞りを介して大気とベンチュリ部負圧とに連通するダイヤフラム室のダイヤフラムに取り付けられて出口面積を制御する機能を有し、(3)前記メータリング・ニードルは外径一定であり、サクション・ピストンのストローク量に比例する燃料計量のための開口面積を有することを特徴とする可変ベンチュリ気化器。

(2) 前記フロート・チャンバ出口の可変絞り弁を制御するダイヤフラム室が、圧力調整装置を有することを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の可変ベンチュリ気化器。

(3) 前記メータリング・ニードルは、燃料計量の

愛知県知多郡東浦町大字緒川字下米田64番地

⑦ 出 願 人 愛三工業株式会社
天府市共和町一丁目1番地の1
⑧ 代 理 人 弁理士 岡田英彦

ための開口面積が、メータリング・ニードルの長手方向に設けられた溝によって形成され、溝の横断面は幅一定の長方形をなし、その深さはメータリング・ニードルの全ストロークに沿つて自由端部側で最大、基部側で最小となる直線変化をなす形状からなることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項または第2項のいずれか1項記載の可変ベンチュリ気化器。

(4) 前記メータリング・ニードルは中空円筒からなり、燃料計量のための開口面積がニードルの長手方向に沿つて少なくとも1本設けられた幅一定のスリットからなることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項または第2項のいずれか1項記載の可変ベンチュリ気化器。

(5) 前記メイン・ジェットが、前後位置調節用のアジャスタねじを有することを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項ないし第4項のいずれか1項記載の可変ベンチュリ気化器。

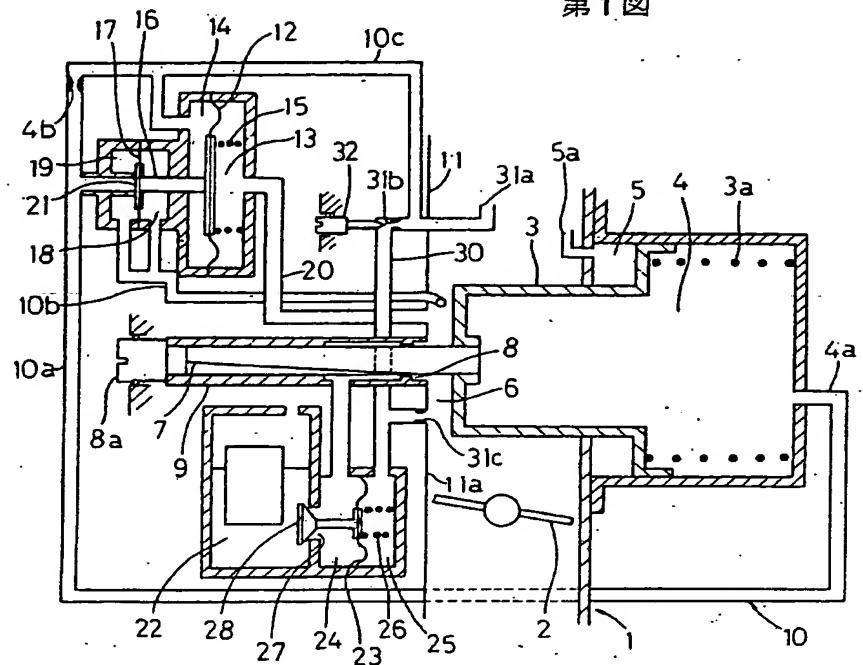
図面の簡単な説明

第1図は、この考案の一実施例の縦断正面図、第2図ないし第4図は、それぞれこの考案の他の実施例の要部の縦断面図、第5図および第6図は、それぞれこの考案の一実施例の要部の縦断面図および端面図、第7図および第8図は、それぞれ第5図相当の他の実施例の縦断面図および平面図を示す。

2 ……スロットル・バルブ、3 ……サクション・ピストン、6 ……ベンチュリ部、7, 47 ……メータリング・ニードル、10 ……サクション通路、12, 17, 23 ……ダイヤフラム、20 ……負圧連通路、21 ……可変絞り弁、27,

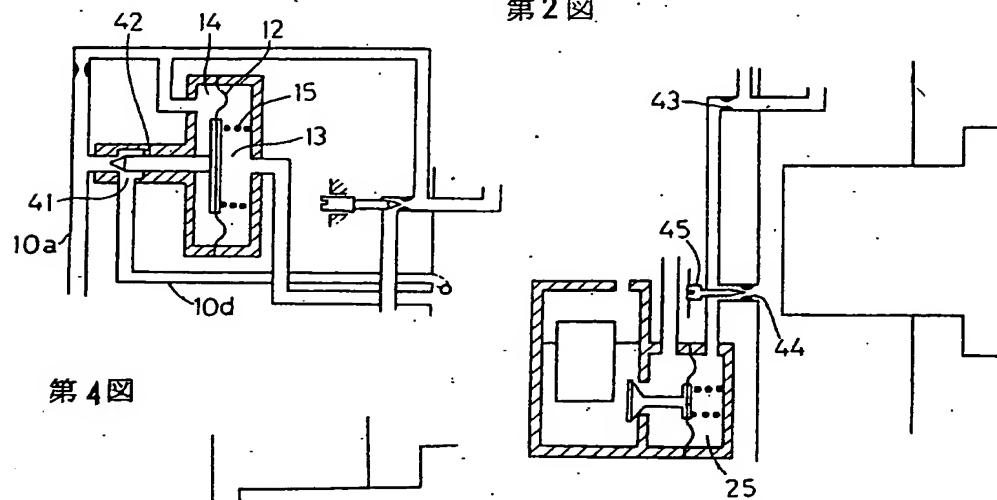
41……可変絞り、30, 33……空気連通路。

第1図

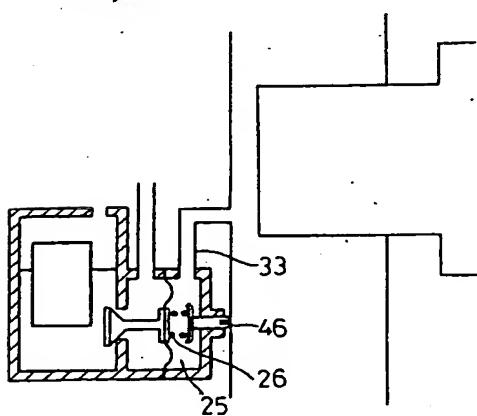


第3図

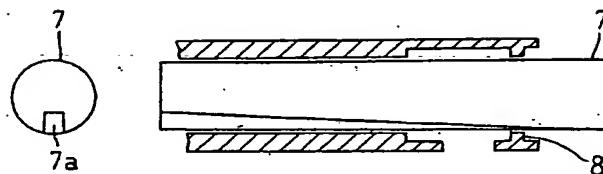
第2図



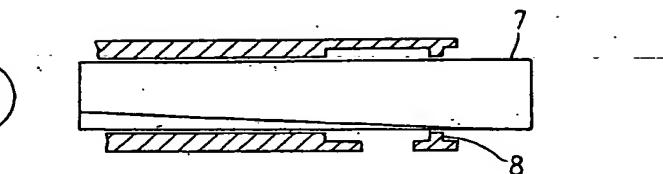
第4図



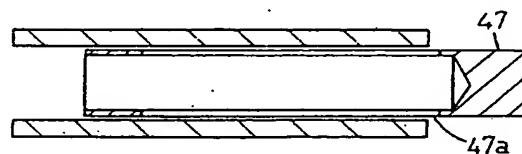
第6図



第5図



第7図



第8図

